

開講年度	令和 7 年度		開講課程	博士後期課程
授業名	社会医学特別演習			
開講キャンパス	紀三井寺	教室	各研究室	
科目区分	特別科目	配当年次	1 ～ 2 年次	
必修・選択の別	選択	単位	2 単位	
対象学生	－	使用言語	日本語	
キーワード	(法医学) 児童虐待、乳幼児突然死 (環境保健予防医学) 生活習慣病の予防 (公衆衛生学) 予防医学、先制医療、個別化予防 (医療統計学) 医療統計学 (医療データサイエンス学) データサイエンス (医療情報学) 電子カルテ、クリニカル・データベース、生体情報			
担当教員 (下線：科目責任者)	医	(法医学) 教授 近藤稔和、准教授 石田裕子、講師 野坂みずほ、講師 石上安希子 (環境保健予防医学) 教授 藤吉 朗、准教授 東山 綾、助教 竹村重輝 (公衆衛生学) 准教授 牟礼佳苗 (医療統計学) 教授 下川敏雄、講師 万 可 (医療データサイエンス学) 教授 下川敏雄 (医療情報学) 教授 西川彰則		
	薬			
授業の概要	法医学、環境保健予防医学、公衆衛生学、医療統計学、医療データサイエンス学、医療情報学の各分野において講義及び演習を行う。本演習では、各分野における最近の論文を抄読し、最新の研究動向を理解するとともに、研究技能の向上を目指す。またディスカッションを行うことにより、幅広い視点から自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について深く学ぶ。			
到達目標	(法医学) 児童虐待・乳幼児突然死に関する動向を理解する。 (環境保健予防医学) ①生活習慣病（循環器疾患や認知症を含む）に関する幅広い知見を得るとともに、論文の建設的な批判的吟味ができる。②統計ソフトの基本操作ができる。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の重要概念を説明できる。 (公衆衛生学) 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析することができる。 (医療統計学) 既存の統計手法を理解するとともに、新たな手法を開発できる。 (医療データサイエンス学) 医療データサイエンスを実践するうえで必要な統計的方法を理解し、利活用することができる。 (医療情報学) 電子カルテの診療情報や新規医療デバイスを活用した生体情報から、研究利用可能なデータベース作成やシステムを構築立案ができる。			

授業計画	（法医学） 児童虐待・乳幼児突然死に関する最新の文献を読み発表し議論する。（近藤稔和／石田裕子／野坂みずほ／石上安希子） （環境保健予防医学） ①生活習慣病の予防に関するトピックについて討議する。②統計ソフトの基本操作演習を行う。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を紹介する。適時e-learningを活用する。（藤吉 朗／東山 綾／竹村重輝） （公衆衛生学） 個別化予防医学実践のためのゲノム情報やバイオマーカーを用いたデータ解析 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析する。（牟礼佳苗） （医療統計学） 研究テーマに関連する最新の統計手法に関する論文を抄読し、研究動向を理解する。このとき、抄読の内容は研究ノートとして整理するとともに、パワーポイント等を用いて発表する。さらに、抄読内容を踏まえた新たな統計手法を開発する。（下川敏雄／万 可） （医療データサイエンス学） 研究テーマに関連する論文を抄読し、最新の研究動向を理解する。このとき、抄読の内容は研究ノートとして整理するとともに、パワーポイント等を用いて発表する。また、医療データサイエンスを実践する上で必要な統計的方法の知識および統計解析環境Rを用いた利活用に関する能力を身につける。（下川敏雄） （医療情報学） 医療情報に関する論文を抄読し、医療情報を用いた研究法について討議する。（西川彰則）
授業の方法・形態	演習を中心とする。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100%（討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など）によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	（法医学） 【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 （環境保健予防医学） 別途指示する。 （公衆衛生学） 【教科書】特に指定しない。 【参考書】該当年度の「最新の実験医学」（羊土社）等 例「実験医学増刊33.7, 2015 先制医療実現のための医学研究」 （医療統計学）（医療データサイエンス学） 【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】「An Introduction to Statistical Learning: with Applications in R」著者：Gareth James 他 出版社：Springer （医療情報学） 【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。